



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東
 コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 真一
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長(氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	114,728	△20.6	1,532	△89.4	2,256	△85.4	413	△96.5
2019年3月期第3四半期	144,478	18.7	14,476	90.6	15,407	76.7	11,987	103.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 659百万円(△88.8%) 2019年3月期第3四半期 5,907百万円(△51.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第3四半期	円 銭 16.93	円 銭 —
2019年3月期第3四半期	485.48	—

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年3月期第3四半期	百万円 255,967	百万円 158,402	% 61.6
2019年3月期	269,521	160,946	59.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 157,581百万円 2019年3月期 160,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 —
2020年3月期	—	60.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、2019年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	163,000	△20.4	3,500	△83.1	4,300	△80.4	1,600	△90.6	65.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	24,893,841株	2019年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	450,050株	2019年3月期	449,837株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	24,443,926株	2019年3月期3Q	24,692,498株

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は、連結売上高1,147億28百万円(前年同期比20.6%減)、営業利益15億32百万円、経常利益22億56百万円、純利益4億13百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の連結受注は1,155億58百万円(前年同期比28.4%減)となり、前年同期を下回りました。

第3四半期(2019年10月～12月)における報告セグメント別の受注状況(現地通貨ベース)は以下のとおりです。

(当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については8ページを参照ください)

セグメントⅠ(「個別」および国内連結子会社)

牧野フライス製作所の国内受注は前年同期を大きく下回りました。

前年同期に好調であった自動車と半導体製造装置の部品加工向けの減少が主な要因です。

受注は来下期から上向くとみています。一部の半導体製造装置関連で設備投資の動きが見られます。また、5Gスマートフォンの開発が進むに伴い、来下期に電子部品関連向けが上向くとみています。自動車向けは厳しい状況が続いており、来下期以降に上向くとみています。航空機向けは、新型機の開発の進捗に伴って、関連した設備投資が出てくるとみています。

セグメントⅡ(MAKINO ASIA PTE LTD)

アジアは前年同期に比べ、すべての地域で下回りました。

中国では、前年同期に好調であった自動車向けが減少しました。米中の貿易摩擦の緩和を受けて、新エネルギー車関連を中心に来期以降、滞っていた案件が動き出すとみています。スマートフォン関連では、金型向けを中心に上向くとみています。今後、新型肺炎による製造業への影響が事業活動に及ぶことを懸念しています。

インドは、自動車販売台数の減少による商談の決定延期、および新規引き合いの減少により、前年同期を下回りました。その他、一般機械や航空機向けも引き続き厳しい状況が続いています。受注は、自動車向けの回復に時間を要するため、しばらく低迷が続くとみています。

アセアン地域は、ベトナムとマレーシア向けは堅調でしたが、タイやインドネシア向けの減少により前年同期を下回りました。受注は、半導体製造装置向けを中心に来上期から上向くとみています。このほか医療向けの伸びを期待しています。

セグメントⅢ(MAKINO INC.)

アメリカは前年同期並みとなりました。

自動車のSUVやピックアップトラック向けにまとまった受注がありました。

医療向けは、人工の関節や歯など、インプラントの部品加工向けが堅調に推移しています。

航空機向けは、一時的に低調だった前年同期に対し、上回る結果となりました。エンジン向けの受注は継続していますが、航空機の一部機種の出荷停止による影響が大きくなっています。

受注は、来下期以降に上向くとみています。生産停止となっている航空機の運航再開に大きく依存するとみています。

セグメントⅣ(MAKINO Europe GmbH)

前年同期を大きく下回りました。

航空機向けは引き合いを抱えていましたが、その多くが中止、延期となりました。また、航空機メーカーから当社顧客に対する発注量が減少したことでキャンセルとなった受注がありました。ドイツを中心に景気が低調なため、自動車や一般機械の部品加工向けでは、投資の様子見が継続しています。

受注の本格的な回復にはまだ時間を要するとみています。

以上の通り、当社の受注環境は厳しい状況にあります。こうした中でもお客様からの生産の自動化に対する要求は高度化しています。また、この需要は今後の景気回復とともに拡大するとみています。

当社はこれらに応えるために様々な研究開発と設備投資を継続しています。

今年度に、お客様がスムーズに自動化を導入できるよう、パレット自動搬送システムをパッケージ化した「PZ1」の販売を開始しました。現在は、自動で経路を作成して移動する無人搬送車を開発し、当社工場設備として運用しています。今後この技術をお客様に提供できるよう進めています。

昨年度より、お客様の機械と当社のサービス拠点を無線のネットワークでつなげることで、お客様の機械の状況を当社のサービスエンジニアが遠隔地から確認し、迅速な支援ができるサービス「リモートサポート」の提供を開始しました。

昨年度に拡張したシンガポールの工場と、今年度に拡張予定の中国の工場には、生産の効率化と増産を実現するための設備のみならず、お客様に機械を最も効率的にご利用いただくためのソフトウェアやデータを作成・配信するサービス拠点を設けています。

また、工作機械の音声操作や予知保全等に最新のデジタルテクノロジーを取り入れ、お客様に万全なサポートを提供すべく取り組んでいます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ135億53百万円減少し、2,559億67百万円となりました。主な増減としては、受取手形及び売掛金184億47百万円の減少、現金及び現金同等物35億14百万円の減少、リース資産27億19百万円の増加、投資有価証券18億41百万円の増加、たな卸資産17億12百万円の増加などが挙げられます。

負債につきましては、仕入債務92億23百万円の減少、未払法人税等31億63百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ110億9百万円減少し、975億65百万円となりました。

また、純資産につきましては、利益剰余金27億75百万円の減少、その他有価証券評価差額金13億39百万円の増加、為替換算調整勘定11億95百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ25億44百万円減少し、1,584億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期の受注が低調となり、第4四半期に出荷を見込める受注残が減少したため通期の売上高の予想を引き下げました。売上が減少することと、繰延税金資産の回収可能性が低いと判断した結果、利益が減少する見通しのため、次の通り連結業績予想の修正をいたします。詳細は本日(2020年1月31日)公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通 期	163,000	△20.4	3,500	△83.1	4,300	△80.4	1,600	△90.6

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,215	45,701
受取手形及び売掛金	53,402	34,955
有価証券	39	42
商品及び製品	17,916	22,473
仕掛品	13,192	14,653
原材料及び貯蔵品	32,317	28,012
その他	6,356	8,159
貸倒引当金	△775	△846
流動資産合計	171,665	153,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,246	31,318
機械装置及び運搬具（純額）	9,086	9,202
工具、器具及び備品（純額）	4,772	4,522
土地	17,427	17,732
リース資産（純額）	922	3,641
建設仮勘定	1,427	2,150
有形固定資産合計	65,882	68,568
無形固定資産		
その他	3,838	4,469
無形固定資産合計	3,838	4,469
投資その他の資産		
投資有価証券	20,828	22,670
長期貸付金	559	836
繰延税金資産	3,773	3,321
退職給付に係る資産	195	186
その他	3,132	3,100
貸倒引当金	△353	△335
投資その他の資産合計	28,135	29,778
固定資産合計	97,855	102,816
資産合計	269,521	255,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,784	11,310
電子記録債務	16,490	12,740
短期借入金	3,364	4,013
1年内返済予定の長期借入金	7,725	7,645
リース債務	216	547
未払法人税等	3,701	538
その他	26,027	22,887
流動負債合計	74,309	59,683
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	13,872	13,862
リース債務	856	2,808
繰延税金負債	4,155	5,705
役員退職慰労引当金	99	107
退職給付に係る負債	4,047	4,113
その他	1,234	1,285
固定負債合計	34,265	37,882
負債合計	108,574	97,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,070	37,070
利益剰余金	95,782	93,007
自己株式	△2,009	△2,010
株主資本合計	151,986	149,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,823	12,163
為替換算調整勘定	79	△1,116
退職給付に係る調整累計額	△2,774	△2,675
その他の包括利益累計額合計	8,128	8,371
非支配株主持分	831	820
純資産合計	160,946	158,402
負債純資産合計	269,521	255,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	144,478	114,728
売上原価	98,195	84,320
売上総利益	46,283	30,407
販売費及び一般管理費	31,806	28,875
営業利益	14,476	1,532
営業外収益		
受取利息及び配当金	990	722
受取賃貸料	195	377
その他	236	304
営業外収益合計	1,422	1,403
営業外費用		
支払利息	241	284
為替差損	87	361
その他	161	33
営業外費用合計	490	679
経常利益	15,407	2,256
特別利益		
固定資産売却益	164	63
投資有価証券売却益	246	30
特別利益合計	411	94
特別損失		
固定資産除却損	35	73
特別損失合計	35	73
税金等調整前四半期純利益	15,782	2,277
法人税等	3,769	1,860
四半期純利益	12,012	416
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,987	413

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	12,012	416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,412	1,339
為替換算調整勘定	205	△1,195
退職給付に係る調整額	100	98
その他の包括利益合計	△6,105	243
四半期包括利益	5,907	659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,884	656
非支配株主に係る四半期包括利益	22	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)

一部の在外連結子会社において「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)を第1四半期連結会計期間より適用しております。ASC第606号の適用については、ASC第606号の経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を利益剰余金に加減しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

「リース」(IFRS第16号)

一部の在外連結子会社においては、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、第1四半期連結会計期間の期首時点で、有形固定資産が2,309百万円、流動負債が312百万円、固定負債が2,017百万円、それぞれ増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行っており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行っております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC.(アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	46,816	44,867	40,191	12,603	144,478
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	52,625	7,343	273	58	60,300
計	99,441	52,211	40,464	12,661	204,779
セグメント利益 又は損失(△)	10,467	4,761	1,253	△596	15,886

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	15,886
未実現利益の消去他	△1,410
四半期連結損益計算書の営業利益	14,476

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	34,727	35,358	35,571	9,070	114,728
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,162	5,219	242	41	44,665
計	73,890	40,577	35,813	9,111	159,393
セグメント利益 又は損失(△)	△1,140	2,848	921	△1,018	1,611

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,611
未実現利益の消去他	△79
四半期連結損益計算書の営業利益	1,532

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 自 2019年 4月 1日 至 2019年 12月 31日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	33,828	29.3	△32.0
II	34,621	30.0	△32.3
III	39,300	34.0	△14.4
IV	7,808	6.7	△46.2
合計	115,558	100.0	△28.4

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間末 2019年12月 31日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	24,146	37.9	△18.7
II	11,454	18.0	△33.2
III	17,860	28.1	△19.6
IV	10,217	16.0	△23.8
合計	63,678	100.0	△22.8

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 自 2019年 4月 1日 至 2019年 12月 31日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	34,727	30.3	△25.8
II	35,358	30.8	△21.2
III	35,571	31.0	△11.5
IV	9,070	7.9	△28.0
合計	114,728	100.0	△20.6

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。